

I 公民館の充実発展に関する事業

【公民館研究集会・大会等の開催】

「全国公民館研究集会」及び「ブロック公民館大会」を7地域区分(北海道、東北、関東・甲信越・静、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州)で開催した。公民館に勤務する全国の職員等を中心に、6,258名が参加し、地域社会の現代的課題への対応などのテーマで事例発表や討議及び大学教授等の研究者の講演等を行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

《開催実績／全国公民館研究集会及びブロック公民館大会》

地区	会期	主会場	参加者数
北海道	10/24～25	北海道札幌市	600名
東北	10/17～18	岩手県盛岡市	594名
関東・甲信越・静	8/22～23	栃木県宇都宮市	765名
東海・北陸	10/17～18	愛知県刈谷市	1,037名
近畿	11/15	奈良県奈良市	724名
中国・四国	9/5～6	徳島県徳島市	1,106名
九州	1/14	佐賀県佐賀市	1,432名
合計			6,258名

※九州地区は豪雨災害により8/29～30から1/14に延期。

【全国公民館セミナーの開催】

各都道府県を代表する公民館長を中心に94名が参加。今年度は以下に記載したプログラムで実施。公民館の機能充実に必要なことを習得し、各地域の公民館の活動にフィードバックすることで、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

テ マ／新しい時代の公民館戦略を考える

開催期日／令和2年1月29日～1月31日

開催場所／国立オリンピック記念青少年総合センター

参加人数／94名

《プログラム内容》

総合司会／バーゲンセール

トークセッション

「先進事例に学ぶこれからの公民館運営」

《コーディネーター》

田中雅文（日本女子大学人間社会学部教育学科教授）

《ゲスト》

前田学浩（南国市立稲生ふれあい館顧問）

宮城 潤（那覇市若狭公民館館長）

施策説明

「文部科学省の公民館をめぐる動き」

水田 功（文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長）

技術講義

「お笑い芸人に学ぶコミュニケーション術」

《講師》

バーゲンセール（お笑い芸人）

ワークショップ

「新しい時代の公民館広報戦略」

山田義郎（映像クリエイター・広報アドバイザー）

アイスブレイク

「お笑いライブ！」

《出演者》

バーゲンセール、プラスワン、キンカ、プーケットマーケット

特別講義

「東京オリンピック・パラリンピックにむけて」

八木和広（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツ局次長）

集中講義

「公民館を地域づくりの基盤に」

牧野篤（東京大学大学院教育学研究科教授）

【相談助言・情報発信・連携協力事業の実施】

① 相談助言・情報発信

日々の公民館活動のなかで「社会教育法上の適否」や「トラブル回避の方法」「活動事例」「公民館の評価」などを情報発信するとともに個別の照会に対し、電話やインターネットを活用した助言を行った。また、各地の公民館で実施する研修会の開催にあたって、講師派遣の相談対応、運営に役立つ情報提供などを適宜行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。あわせて、情報提供の基礎的資料と

して活用するため、「全国公民館実態調査」の分析を行った。

② 国・地方公共団体・社会教育団体・機関等との連携協力

社会教育団体振興協議会の運営を通じて実施される情報交換及び情報発信、より多くの協力者を求めて、国内における社会教育に関する理解を深めるための新規の加入促進を行うとともに、全国の公民館の活動推進に資するために、公民館施設活用の促進について、積極的な働きかけを行った。

【地域活動支援事業の実施】

都道府県公連で実施している研修などに対して支援をするとともに、その活動状況を発信することによって公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。
・各都道府県公連 103 事業に対して 8,073,801 円を助成。

【公民館広報推進事業の実施】

公民館の広報活動の事例を収集・評価を行い、優良なコンテンツを表彰することによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図る事業として、今年度はインターネットを活用した取り組みを対象にした「全国公民館インターネット活用コンクール」を行った。

今年度を実施したコンクールの結果は以下のとおり。

（「第3回全国公民館インターネット活用コンクール」の結果一覧）

種類	受賞館報
最優秀賞	・那覇市若狭公民館（沖縄県）
優秀賞	・相模原市立麻溝公民館（神奈川県） ・高松市木太地区コミュニティ協議会（香川県）
特別賞	・【地域情報発信賞】遠野市小友地区公民館（岩手県） ・【Facebook 活用賞】高浜町和田公民館（福井県） ・【ブログ活用賞】山口市阿東地域交流センター生雲分館（山口県）
奨励賞	・相模原市立新磯公民館（神奈川県） ・鳥取市立鹿野地区公民館（鳥取県） ・高松市太田南コミュニティセンター（香川県）

【「月刊公民館」の発行】

公民館の運営に参考になる特集テーマで、地域社会の取組や専門家の論考などを紹介した「月刊公民館」を発行し、これを広く供することで公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図ってきた。今年度は以下の特集を組み発行した。また、誌面と連動した動画配信「月刊公民館ちゃんねる」を開設し、9本の動画を配信した。

(月刊公民館特集テーマ一覧／通巻 743～754 号)

4月号	公民館の道しるべ(上)
5月号	公民館の道しるべ(下)
6月号	魅力ある講座をつくろう
7月号	講座づくりの実際
8月号	地域で子どもが育つ公民館活動
9月号	失敗から学ぶ成功のヒント
10月号	公民館における障害者への学習支援
11月号	コミュニティを創造する
12月号	これからの広報
1月号	調査から見た公民館の現状
2月号	地域を災害から守る防災学習
3月号	第3回インターネット活用コンクール結果報告

(月刊公民館ちゃんねる配信一覧／視聴回数は H31. 4. 1～R2. 3. 31)

公開日	視聴数	タイトル
R1. 08. 21	731 回	アラサー女性お笑い芸人バーゲンセールがゆく！ ドタバタ取材～松阪公民館編～
R1. 10. 09	393 回	バーゲンセール、田原へ嫁ぐ!? 【奈良市田原公民館編】
R1. 12. 03	180 回	バーゲンセール読み聞かせの犬になる!? 【奈良市南部公民館月刊公民館取材】
R2. 01. 14	190 回	さあ、城北喫茶公民館に行って、みんな友達になろう！ 【長野県松本市城北公民館編】
R2. 01. 20	129 回	仮の親子に変身！ 宇都宮でリースづくり体験？ 【宇都宮市南生涯学習センター篇】
R2. 02. 06	49 回	新たな社会教育プログラム「映画づくりワークショップ」
R2. 02. 12	222 回	公民館と私 可能性の物語り
R2. 03. 12	200 回	池上彰さん特別教室「民主主義と公民館運動」(短縮版)
R2. 03. 18	123 回	池上彰さんのわかりやすい！公民館教室【完全版】
合計	2,217 回	

【専門資料の発行】

公民館活動を行ううえで必要になる専門資料を発行し、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。今年度は本連合会で作成した「新訂公民館における災害対策ハンドブック」、「公民館必携 平成 29 年版」、「新訂よくわかる公民館のしごと」を出版社を通じて継続発行した。

【優良公民館職員等表彰事業】

他の模範となるような優良な実績を有する公民館職員を表彰すること及び「優良公民館表彰」で文部科学大臣表彰を受賞した公民館に、記念の楯を贈呈すること、『月刊公民館』でその活動を紹介することで公民館関係者の意欲を触発し、力量の向上を促すことによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度は以下のとおりの表彰を実施した。

《優良公民館表彰及び優良職員表彰実績》

優良公民館職員表彰	19名を表彰した。
優良公民館表彰	75館（うち6館が特別賞）の受賞館に記念の楯を贈呈し、『月刊公民館』で活動を紹介した。 【最優秀館】 白石市斎川公民館（宮城県白石市） 【優秀館】 斜里町公民館ゆめホール知床（北海道斜里町） 三条市下田公民館（新潟県三条市） 富士宮市立柚野公民館（静岡県富士宮市） 倉吉市上灘公民館（鳥取県倉吉市） 【相互評価】 那覇市繁多川公民館（沖縄県那覇市）

※相互評価＝「相互評価特別賞」

Ⅱ 公民館総合補償制度に関する事業

【見舞金制度事業の運営】

公民館総合補償制度のなかで運営し、健全な制度運営と適切な支払いに努め、以下の弔慰金及び見舞金の支払いを行った。また、剰余金の一部を公益目的事業等の財源に充てた。

《見舞金制度支払実績一覧》

種類		件数	支払金額	
行事傷害	急性疾病死亡弔慰金	10件	1,000,000円	(98件) 6,301,000円
	急性疾病入院見舞金	35件	2,061,000円	
	特定災害見舞金	53件	3,240,000円	
職員災害	職員死亡弔慰金	10件	1,000,000円	(182件) 8,542,000円
	職員入院見舞金	172件	7,542,000円	
合計		280件	14,843,000円	14,843,000円

【災害補償保険等に係る集金事務に関する事業】

公民館総合補償制度の運営にあたり、保険会社との間で集金事務委託契約を締結し、制度掛金のうち保険料（団体災害補償保険等の保険料）相当部分の集金業務を、請負事業として実施した。当該事業で得られた利益は、公益目的事業の財源に充てた。

Ⅲ その他の事業

【永年勤続職員表彰、功労者表彰及び公連勤続職員表彰の実施】

公民館において長年勤務し、一定の成果をあげた職員を表彰し、立場を同じくする公民館職員への励みとし、同時によき模範となることにより、公民館職員の意欲を触発し、力量の向上を促すことで、公民館機能が向上することをねらって永年勤続職員表彰を行った。

また、都道府県公連における活動の活性化は、本会の目的の達成はもちろん、本会の根幹にかかわるため極めて重要視している。都道府県公連に対して功労があった役職員を表彰することにより、その労をねぎらい、連帯意識の向上に資するために各種表彰を行った。

今年度の表彰実績は以下のとおり。

《永年勤続職員表彰、功労者表彰、公連勤続職員表彰実績》

種類	人数
永年勤続職員表彰	253名
功労者表彰	6名
公連勤続職員表彰	0名